

地震が起きたら・・・

地震が起きたとき、被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりがあわてず適切に行動することが大切です。いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から地震のときの正しい心構えを身につけておきましょう。



1 揺れたら、まず**丈夫な机やテーブル**などの下に身を隠し、座ぶとん等で**頭部を保護**しましょう。



2 ガス器具、ストーブなどは、**揺れがおさまってからすばやく火を消**しましょう。避難前にはガスの元栓を締め、**電気ブレーカーを切り**ましょう。



3 玄関などの扉や窓を開けて**脱出口を確保**しましょう。



4 火が出たら大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって**初期消火**に努めましょう。



5 外は落下物等の危険があるので**あわてて戸外に飛び出さず**落ち着いて行動しましょう。



6 **狭い路地、塀ぎわ**は、落下物や倒壊の危険があります。また、**崖や川べり**は地盤がゆるみ、崩れやすくなっているので注意しましょう。



7 自動車は消火・救助活動の障害になるため、必ず**徒歩で避難**します。持ち物も最小限にとどめ、動きやすい服装で避難しましょう。



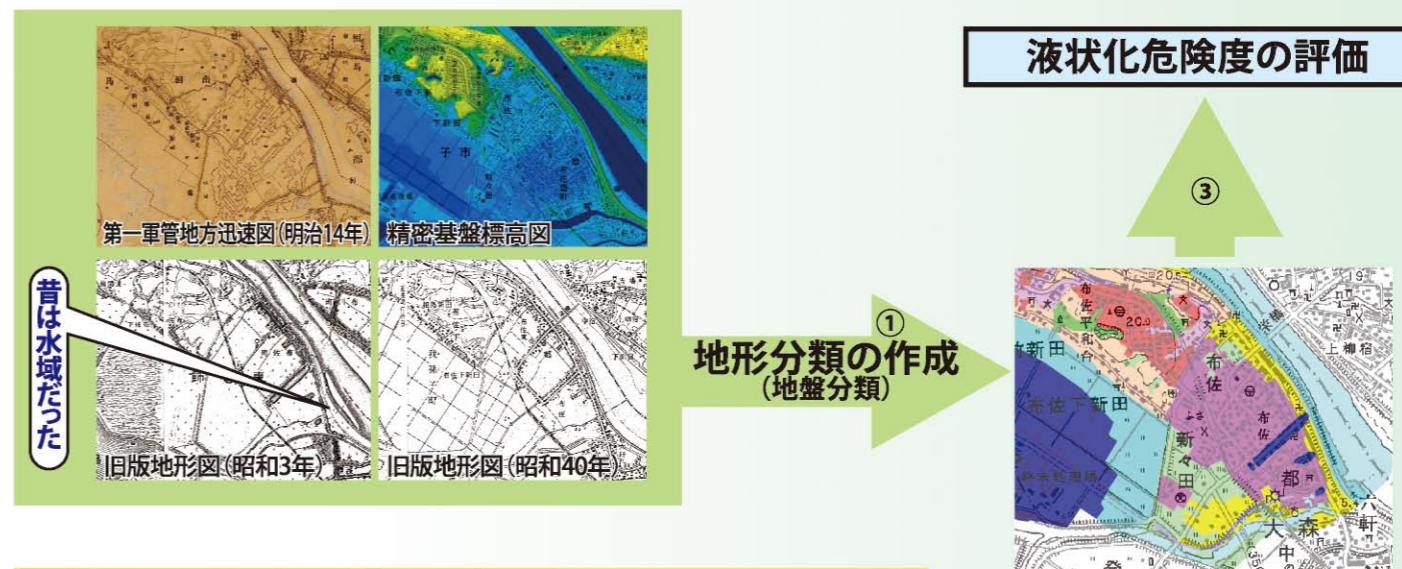
8 軽いケガなどの処置は、みんながお互いに**協力しあって応急救護**しましょう。



9 市、消防署、警察署などの広報やテレビ・ラジオなどで**正確な情報**を確認しましょう。**デマに惑わされない**よう、注意が必要です。

地震ハザードマップができるまで

①昔の地形図や写真などを使って市内の地盤を調査します。②地盤ごとに推定した揺れやすさの程度を掛け合わせて地表の震度を予測します（地震防災マップ作成技術資料（内閣府，平成17年））。③地形分類をもとに液状化の発生可能性を評価します（液状化地域ゾーニングマニュアル（国土庁，平成11年））。④町丁字別の建物の構造や建築年代別の建物棟数と想定される震度から建物の全壊率（こわれやすさ）を予測します。



我孫子市に大きな被害をもたらすことが予想される地震には、茨城県南部地震があります。また、我孫子市周辺には市に大きな影響を及ぼすような活断層は確認されていませんが、活断層が確認されていない地域でもマグニチュード6クラスの地震が発生することがあります。

そこで、地震ハザードマップでは、茨城県南部地震と我孫子市直下地震を想定し、市で考えられる最も大きな揺れを予想しました。

茨城県南部地震 マグニチュード7.3
我孫子市直下の地震 マグニチュード6.9

